

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【公開番号】特開2014-59558(P2014-59558A)

【公開日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-017

【出願番号】特願2013-173118(P2013-173118)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 1 1 5

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 9/08 3 8 1

G 0 3 G 15/08 5 0 7 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月19日(2016.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー濃度を制御する方法であって、  
トナー粒子を含むトナーを供給するステップと、  
乾式写真複写システム内の前記トナーを使用して、トナー濃度を測定するステップと、  
前記トナー粒子のトナー濃度が、前記乾式写真複写システムの表示空間の 9 パーセント  
～ 12 パーセントに留まるよう、前記トナー粒子の形状係数を調整するステップと、を含む方法。

【請求項 2】

前記トナー濃度が、前記乾式写真複写システムの前記表示空間の 9 パーセント～ 11 パーセントである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記形状係数が、トナー粒子の真円度である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記供給されたトナーが、前記トナー粒子の合体中に、スラリー pH を調整して、所望の形状係数を目標とすることにより作成される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記乾式写真複写システム内で使用する前に、前記トナーが、担体と組み合わせられて、現像剤が形成され、前記現像剤は、2700～2000の基本的流動エネルギーにより測定される現像剤の流れを有する、請求項 1 に記載の方法。